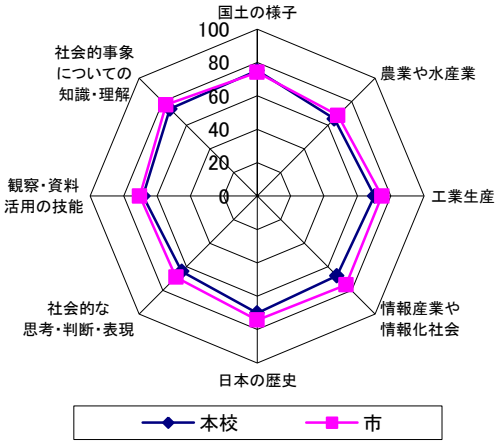


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	75.2	74.1	72.5
	農業や水産業	65.3	68.4	61.6
	工業生産	70.3	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	67.6	75.3	74.0
	日本の歴史	70.1	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	63.9	68.7	64.2
	観察・資料活用技能	68.4	70.3	68.1
	社会的事象についての知識・理解	73.8	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○日本海側の気候のグラフについて、該当する地域を指摘することができるかを問う問題の正答率は43. 2%で、市よりも4. 5ポイント高い。	・市よりも高いとはいえ、半数以上が誤答してしまっている。授業の中でもっと地域ごとのグラフを見比べたりグラフから地域を予想したりする活動を取り入れていく。
農業や水産業	●米作りに向いている地域の特色について考察することができるかを問う問題の正答率は67. 6%で、市よりも6. 7ポイント低い。	・米作りがどの季節に行われるか、どんな環境で行われているかは、社会の授業の中で復習する機会を設ける。さらに、5年生で体験した田植えや稲刈りなどをもう一度振り返ることで、米作りのその知識を使って思考するような活動をより多くしていく。
工業生産	●日本の工業地帯や工業地域の特色について、地図を読み取ることができるかを問う問題の正答率は50. 5%で、市よりも6. 3ポイント低い。	・日々の授業の中でグラフや資料を見て、そこから分かることや考えられることなどを児童と一緒に考えていくような活動を取り入れていくことで、児童の思考力を育てていく。
情報産業や情報化社会	●情報ネットワークについて、コンビニエンスストアを例に考察することができるかを問う問題の正答率は59. 5%で、市よりも7. 8ポイント低い。	・児童に「なぜ」や「どうして」という問いを投げかけ、資料をもとに考え、説明していく体験を多く積ませていく。
日本の歴史	○日本の立憲政治の確立に関する年表を読み取ることができるかを問う問題の正答率は73. 0%で、市よりも7. 2ポイント高い。 ●参勤交代が大名に与えた影響について、資料を読み取って考えることができるかを問う問題の正答率は57. 7%で、市よりも11. 1ポイント低い。	・さまざまな歴史的な事柄を覚えていくために、授業の導入部で繰り返し復習をしたり、確認をしたりしていく。また、その知識と資料を関連付けられるようにするために、日々の授業の中でグラフや資料を見て、そこから分かることや考えられることなどを児童と一緒に考えていくような活動を取り入れていくことで、児童の思考力を育てていく。